

資料番号	4
------	---

令和4年1月19日
課名 商工労働局観光課
担当者 課長 石濱
電話 082-555-2010

現広島 FMP 開発事業用地の利活用に係る公募結果について

1 要旨・目的

現広島 FMP 開発事業用地の利活用に係る次期運営事業予定者の公募について、選定委員会で事業提案の審査を行い、その審査結果に基づき、次のとおり事業予定者等を決定した。

2 公募結果

(1) 参加資格確認申請者数

9 者

(2) 応募者数

3 者

(3) 審査結果

ア 事業予定者

事業者名	代表法人：㈱トムス（東京都世田谷区） 構 成 員：広島トヨペット㈱
提案名称	ひろしまモビリティゲート（名称仮） アジア圏随一の“モビリティ・エンターテイメントの聖地”
賃貸借契約期間	31 年間
土地の利用方法	一体的利用（105,446.85 ㎡）
提案概要	「アジア圏随一の“モビリティ・エンターテイメントの聖地”」をコンセプトに、屋内でのEVカートレースや球体スクリーンによるVRコンテンツ、フォーミュラーカレッジといったモビリティを中心とした体験の提供、カーディーラー、飲食等のテナントの導入、アウトドアアクティビティで活用できる緑地の設置、野外イベントの実施等により、新たな観光名所として、国内外から観光客等と呼び込むとともに、MaaS や次世代モビリティの実証実験など、最先端のモビリティ研究にも活用
評点（合計）	403 点/500 点

イ 次点事業予定者

事業者名	代表法人：(株)みどりホールディングス（広島市中区） 構 成 員：(株)マリーナホッププロパティ, (株)第一ビルサービス, (株)広島まちづくりファンド
提案名称	広島マリーナホップ：Sea-novation
賃貸借契約期間	30 年間
土地の利用方法	一体的利用（105,446.85 m ² ）
提案概要	「Sea-novation で Hiroshima life をより楽しく」をコンセプトに、現在の建物・設備をベースに「広島マリーナホップ」の運営を継続しつつ、新商業棟の建設、アミューズメント棟の改築と新しい集客コンテンツの導入、広島西飛行場跡地の関係事業者との共創や広島観音マリーナとの連携などにより、更なるにぎわいの創出と価値の提供を図るとともに、シーフロント地区におけるタウンセンターとしての機能を担う
評点（合計）	369 点/500 点

ウ 事業予定者、次点者以外の者

事業者名	非公表
提案名称	モビリティパーク広島 ー多目的複合型イノベーションエリアの創出ー
賃貸借契約期間	31 年間
土地の利用方法	部分利用（14,983.13 m ² ）
提案概要	大規模な自動車展示場、雨天対応型ドッグラン、オープンカフェ、野外イベントステージなどの複合施設とすることで、県全域または県近郊からの集客につなげ、より多くのにぎわいの創出と地域の活性化に貢献
評点（合計）	非公表

3 事業予定者決定・公表までの経過

- ・募集要綱の公表 令和3年7月5日（月）
- ・参加資格申請書および質問の受付 令和3年7月5日（月）～8月6日（金）
- ・提案書受付 令和3年9月1日（水）～11月10日（水）
- ・応募者によるプレゼンテーション等 令和3年12月6日（月）、12月22日（水）
- ・事業予定者等の決定・公表 令和4年1月13日（木）

4 今後の予定

事業予定者と基本協定締結に向けて協議を進める。